

(参考書式)

令和 年 月 日

最高裁判所 御中

住 所 _____

氏 名 _____

資産に関する申述書

私は、 年 月 日付で、修習専念資金の返還免除申請書を提出しましたが、修習専念資金の貸与を受けていた _____ の資産の有無及び返還することが困難な理由については、下記のとおりです。

記

資産がない（理由の記載は必要なし）

資産がある

預貯金 _____ 円

土 地 _____ m² 所在地 _____

建 物 _____ m² 所在地 _____

その他 _____

返還することが困難な理由

【記載例】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

最高裁判所 御中

住 所 埼玉県和光市南 2-3-8-201

氏 名 司 法 五 郎

資産に関する申述書

私は、令和〇〇年〇〇月〇〇日付で、修習専念資金の返還免除申請書を提出しましたが、修習専念資金の貸与を受けていた司 法 一 郎の資産の有無及び返還することが困難な理由については、下記のとおりです。

記

資産がない（理由の記載は必要なし）

資産がある

預貯金 1,800,000 円

土 地 _____ m² 所在地 _____

建 物 _____ m² 所在地 _____

その他 _____

返還することが困難な理由

資産（相続財産）がある場合に、その資産により返還することが困難な理由を記入してください。
